

奈良市アートプロジェクト  
ことほぐなら  
「古都祝奈良2017-2018」の開催について

- 「2016年東アジア文化都市」のレガシイを未来につなぐため、美術部門と演劇部門のアートプロジェクトを継続して開催。美術部門プログラムディレクターは美術家の西尾美也（にしおよしなり）さん、演劇部門プログラムディレクターは劇作家の田上豊（たのうえゆたか）氏が、それぞれ務める。
- 美術部門では、平昌（ピョンチャン）パラリンピック冬季競技大会の開会式・閉会式  
の美術監督を務めるチェ・ジョンファさんと美術家を招き、「花 Welcome」をテーマに3つの事業を開催
- 演劇部門では、青少年と創る演劇として、一昨年公開の「ならのはこぶね」を上演

一昨年に行われた「2016年東アジア文化都市」において、本市が日本における開催都市に選定され、「古都奈良から多様性のアジアへ」をテーマとしてさまざまな事業を実施しました。特にコア期間の「古都祝奈良」と題したアートプロジェクトでは、世界に誇る文化遺産を舞台に、奈良が圧倒的な「場の力」を持つまちであることを内外に発信したところです。

そのレガシイを未来につなぐため奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」が再び動き始めます。今年度は「2017-2018」として下記の事業を実施します。

美術部門

「花 Welcome」

韓国を拠点に国際的に活躍するチェ・ジョンファさんを招き、カラフルなザルや容器、ペットボトル、風船などを用いて、奈良市役所やならまちセンターなどを美術作品へと変容させる作品展示「花 Welcome」、プラスチックのフタ等を使って美術作品を市民と共に作り上げるワークショップ「Happy Happy」、チェ・ジョンファさん、京都市立芸術大学教授の小山田徹さん、本事業プログラムディレクターで奈良県立大学専任講師の西尾美也さんと参加者が今後の奈良におけるアートプロジェクトの可能性について語り合うアートディスカッション「生生活活(せいせいかつかつ)―生きることとアート」を開催。

演劇部門

青少年と創る演劇「ならのはこぶね」

「東アジア文化都市 2016 奈良市」の「高校生と創る演劇」で上演したオリジナル演劇「ならのはこぶね」。舞台芸術部門のディレクター平田オリザ氏に「期待以上の成果をもたらし、未来への希望の道筋を示してくれたことは、芸術監督として何よりの喜びであった」と言わしめるほどの素晴らしい発表に、前回は演出を担当した劇作家田上豊さん（本事業プログラムディレクター）が新しい演出を加え、オーディションで新たに選ばれた中高生が、新しい「ならのはこぶね」を上演する。

## チェ・ジョンファ 氏

1961年ソウル生まれ、同在住。

ベネチア・ビエンナーレ 2005では韓国館の代表に選ばれた他、リバプールやシドニー、台北、リヨンなど世界中の芸術祭に参加している。また、平昌（ピョンチャン）パラリンピック冬季競技大会では開会式・閉会式の美術監督を務める。近年参加の主な展覧会にさいたまトリエンナーレ（2016）、ホノルル・ビエンナーレ（2017）、東アジア文化都市 2017 京都「アジア回廊現代美術展」（2017）などがある。



## 西尾 美也 氏

## 古都祝奈良 2017-2018 美術部門プログラムディレクター

1982年、奈良県生まれ。奈良県立大学地域創造学部専任講師。

2016年あいちトリエンナーレ、さいたまトリエンナーレ、2014年六本木アートナイト等多数のプロジェクトに参加。装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目し、地域住民や学生との協働によるプロジェクトを国内外で展開。

「東アジア文化都市 2016 奈良市」の参加アーティスト。

## 田上 豊 氏

## 古都祝奈良 2017-2018 演劇部門プログラムディレクター

1983年熊本県生まれ。

桜美林大学文学部総合文化学科卒業。

2006年、劇団「田上パル」を結成。方言を多用し、疾風怒濤のテンポと、遊び心満載の演出は「体育会系演劇」とも評される。大学在学中にワークショップデザインを研究し、現在、教育現場を中心に、創作型、体験型のワークショップを全国各地で実施している。演劇部の嘱託顧問や、総合高校での表現科目「演劇」の授業を受け持つなど、教育現場での経験も持つ。高校生、大学生とのクリエーション、リーディング、市民劇団への書き下ろしなど、劇団外での創作活動も展開。現在、富士見市民文化会館キラリふじみアソシエイトアーティスト、青年団演出部所属。「東アジア文化都市 2016 奈良市」で「高校生と創る演劇」の演出を行う。



## 2 開催スケジュール等

## 別紙のとおり

## 3 予算（平成 29 年度 9 月補正予算）

7,500 千円

## 実行委員会の歳入歳出予算

[収入]

単位：千円

費目		平成 29 年度	備考
市負担金収入	国庫支出金	3,750	文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業補助金を活用
	市支出金	3,750	
合計		7,500	

[支出]

単位：千円

費目	平成 29 年度	備考
事業費	6,000	現代アート、演劇等主要事業
広報費	1,000	広報宣伝費
事務管理費	500	事務費、運営費
合計	7,500	

### 「東アジア文化都市事業」とは

日本・中国・韓国の3か国で、文化による発展をめざす都市を各国1都市選定し、各都市が行うさまざまな文化プログラムを通して、交流を深める国家プロジェクトです。現代の芸術文化や伝統文化、多彩な生活文化などを通して、東アジア域内の相互理解・連帯感を高めるとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化をめざすものです。奈良市は2016年の開催都市に中国・寧波市、韓国・済州特別自治道とともに選定され、「古都奈良から多様性のアジアへ」をテーマにさまざまな事業を行いました。

### 「東アジア文化都市 2016 奈良市」の概要

「東アジア文化都市 2016 奈良市」では、事業の柱となる「基幹事業」、中国・韓国のパートナー都市とともに開催する「交流事業」、奈良の既存のポテンシャルを生かしたさまざまな事業と連携し発信する「連携事業」、そして、東アジアの文化をテーマとした「シンポジウム」で構成しました。

「基幹事業」では、「美術」「舞台芸術」「食」の3つの事業を中心にプログラムを展開。9月3日～10月23日をコア期間「古都祝奈良－時空を超えたアートの祭典」と定め、集中的にプログラムを実施しました。

### 「古都祝奈良－時空を超えたアートの祭典」（2016年開催）の概要

古都奈良を象徴する社寺や江戸後期からの伝統的なまちなみが残るならまち、平城宮跡等を舞台に、「美術」、「舞台芸術」、「食」の3つの基幹事業を中心にさまざまなプログラムを51日間にわたり展開しました。

美術部門－八社寺アートプロジェクト／ならまちアートプロジェクト

舞台芸術部門－平城宮跡野外公演／万葉オペラ公演

食部門－Nara Food Caravan

ことほぐなら  
**古都祝奈良**  
 2017-2018

奈良市は2016年、「東アジア文化都市」の日本開催都市として「古都奈良から多様性のアジアへ」をテーマにさまざまな事業を行いました。中でもコア期間の「古都祝奈良」と題したアートプロジェクトでは、世界に誇る文化遺産を舞台に、奈良が圧倒的な「場の力」を持つまちであることを内外に発信することができました。この成果を未来につなぐべく、アートプロジェクト「古都祝奈良」が再び動き出します。

スケジュール表

日	月	火	水	木	金	土	
	2月	19	20	21	22	23	24
		ワークショップ1	27	28	3月1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	作品展示 「花 Welcome」	16	17		
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	
		ワークショップ2 アートディスカッション			「ならのはこぶね」		

美術部門 **「花 Welcome」**

韓国を拠点に国際的に活躍するチェ・ジョンファさんを招き、作品展示とワークショップ、アートディスカッションを行います。風船やザル、プラスチック容器などを用いて、奈良市役所やならまちセンターなどを美術作品へと変容させます。

作品展示「花 Welcome」

3月9日(金)～25日(日)  
 会場A：奈良市役所正面玄関ホール(二条大路南一丁目) 午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日休み)  
 会場B：ならまちセンター(東寺林町) 午前9時～午後7時(月曜日、3月22日は休館)  
 ※その他の会場は、市ホームページに掲載

チェ・ジョンファ 《Life,Life》



ワークショップ「Happy Happy」

**ワークショップ1**  
 2月20日(火)～3月8日(木) 午前10時～午後6時 ※月曜日は休み  
 ▶ところ…ならまちセンター3階会議室1(東寺林町)  
 ▶内容…カラフルなザルや容器、ペットボトル、風船など身近なものを使った作品を市内各所に展示し、見慣れた景色を一変させます。  
 ※制作された作品は、3月9日(金)～25日(日)まで展示  
 ▶対象…子どもから大人まで(小学生以下は保護者同伴)  
 ▶参加方法…上記の時間内に直接来場

**ワークショップ2**  
 3月25日(日) 午後1時～3時  
 ▶ところ…ならまちセンター芝生広場※雨天時変更  
 ▶内容…大小さまざまなプラスチックのフタを自由に並べて、芝生広場の上に花を咲かせます  
 ▶対象…子どもから大人まで(小学生以下は保護者同伴) ▶参加方法…当日午後0時45分に同館1階エントランスに集合

アートディスカッション「<sup>せいせい</sup>生活活一生きることとアート」

3月25日(日) 午後4時～6時 ▶ところ…coto coto イベント・展示コーナー(ならまちセンター1階)  
 ▶ゲスト…アーティストのチェ・ジョンファさん、美術家・京都市立芸術大学教授の小山田徹さん  
 ▶進行…美術家・奈良県立大学専任講師の西尾美也さん(「古都祝奈良」美術部門プログラムディレクター)  
 ▶内容…今後の奈良におけるアートプロジェクトの可能性について、ゲストと参加者が一緒に語り合います。  
 ▶定員…中学生以上20人 ▶費用…540円(ワンドリンク付)  
 ▶申込…メール、はがき、FAXに「アートディスカッション申込」、希望者数、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、3月15日(木)までに下記事務局へ ※当日の様子をYouTube配信。市ホームページの「動画チャンネル」から視聴可。

演劇部門 **青少年と創る演劇「ならのはこぶね」**

3月30日(金) 午後2時開演(上演予定時間80分)  
 ▶ところ…ならまちセンター市民ホール(東寺林町)  
 ▶内容…オーディションで選ばれた中高生が、一昨年上演のオリジナル演劇「ならのはこぶね」に新しい演出を加えて上演。  
 ▶申込…メールか(はがき、FAXに「ならのはこぶね申込」、希望者数、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、3月15日(木)までに下記事務局へ  
 ※入場ハガキを後日郵送。残席に余裕があれば当日券を会場にて発行



奈良市アートプロジェクト

ことほぐなら

古都祝奈良 2017-2018

NARA CITY ART PROJECT  
KOTOHOGU NARA

チェ・ジヨンファ

花 WELCOME



CHOI

JEONG HWA

“FLOWER

WELCOME”

〔美術部門〕

2018年

3月9日(金) —

3月25日(日)

会場

奈良市役所 正面玄関ホール  
ならまちセンター 他 市内各所

〈奈良市役所〉土日祝休み

〈ならまちセンター〉月曜、3月22日(水) 休館

その他の会場については、奈良市HPや各種SNSを随時ご確認ください。

主催：奈良市アートプロジェクト実行委員会、奈良市  
協力：奈良県立大学 地域創造学部 西尾研究室

平成29年度文化庁文化芸術創造活用  
プラットフォーム形成事業



奈良市アートプロジェクト

ことほぐなら

古都祝奈良 2017-2018

NARA CITY ART PROJECT  
KOTOHOGU NARA

〔演劇部門〕

2018年

3月30日(金)

開演 14時—開場 13時30分  
会場 ならまちセンター



主催・奈良市アートプロジェクト実行委員会、奈良市  
協力・奈良県立大学 地域創造学部 西尾研究室  
平成29年度文化庁文化芸術創造活用  
プラットフォームフォーム形成事業

青少年と創る演劇

「ならのはこぶね」



CREATING A PLAY  
WITH THE YOUTH  
“NARA-NO-HAKOBUNE”